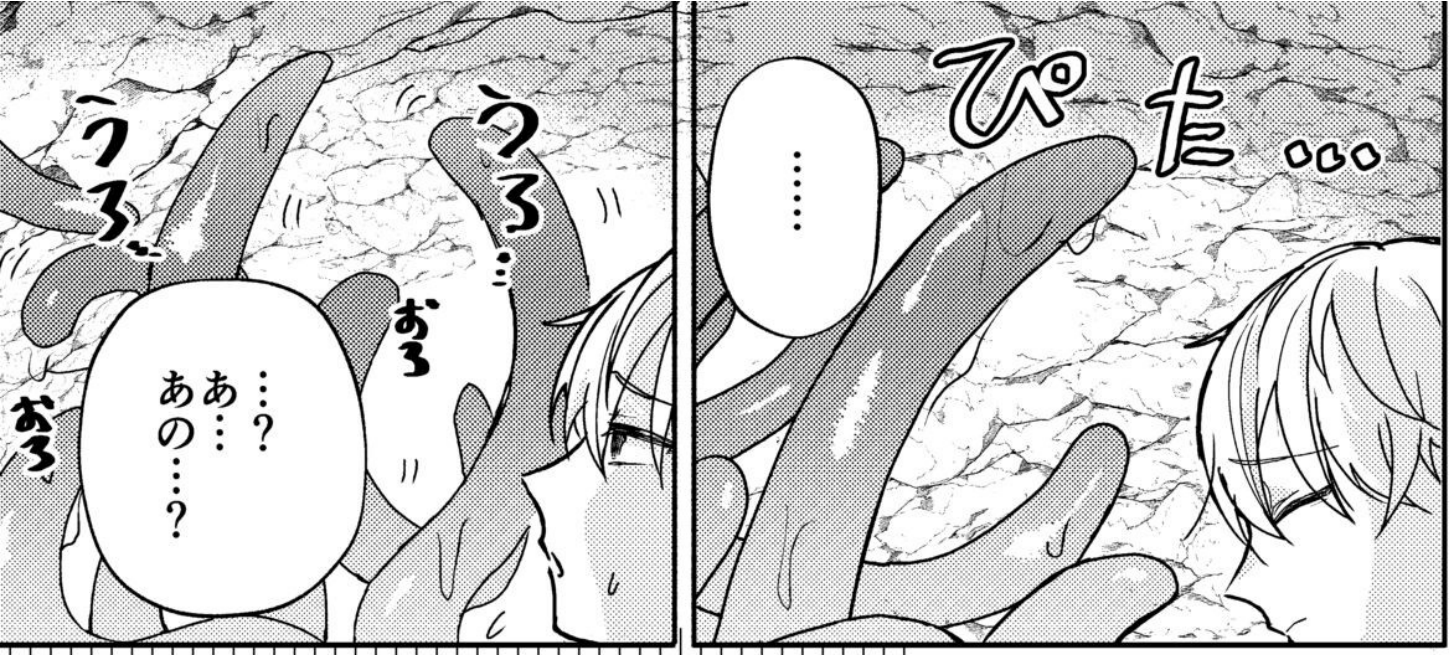

成人向け
R18
ADULT ONLY
触手様
と
人外
因習村
両想いハピエン

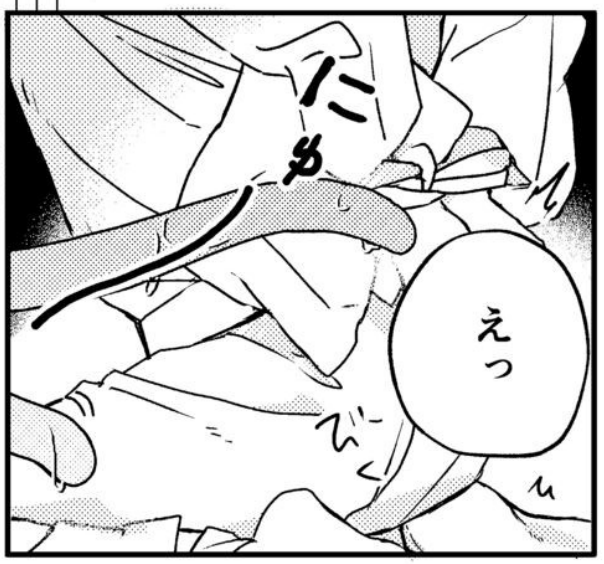

早く歩け
「儀式」の時間だ
ドン
……はい…
お前のような孤児(みなしご)でも
村の役に立てるのだ
光栄に思いなさい——必ず
触手様の種子をいただくこと

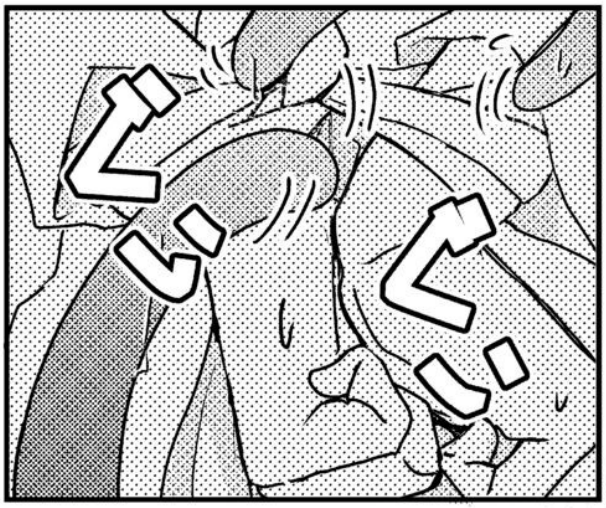

…触手様
触手様の「手」が減ると
村に雨が降らなくなる
手
手を増やすための種子は
本体
交わった若い体にしか注がれない
―らしい
前回から間が空いたので苦労したが
儀式は女の代わりでも良いそうだ
よかったな
…かわり…
ここからは世話役以外立ち入れない
くれぐれも失礼のないように…
ぴた。


役目を果たすこと
…話でしか聞いたことがない触手様
おれに上手く相手できるのかな…
どうする
若い女は皆嫁いでしまった
あいつでいいだろう
あれならどうなってもいい
……
ズル
ズル


ずるり
っ…
本物の…
触手様…！
すっ
ずいっ
ひっ


ぴた…
……
うろ…
おろ
うろ…
おろ
…？
あ…
あの…？


たゆ
えっ


ど…ど…

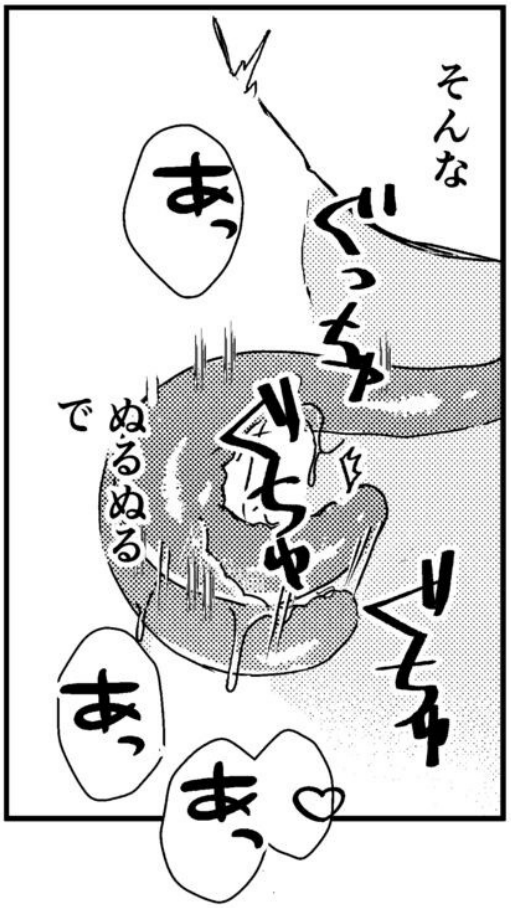

すっ
かるるん…
い…
良いんですか…？


ナデ
ナデ
…？
あれ…!?
おれが驚いたから
気を遣わせてしまった…!?
うろ…
うろ…
というか
なんだか触手様も
オロ…
オロ…
わた
わた…
久しぶりの儀式で困ってるような…!?
いやでもまさか
でも——
……


「必ず種子を」
どちらにしても
あ
あの…っ
覚悟を決めないと
…どうぞ
おず
そっ
にゅ
にゅる
あ…
全身撫でられるみたいに触れられてる…
ぬる
ぬる
ぬる
ナデ


スリ
スリ
ナデ
ぬるぬるして
何だかだんだん
ビクッ
スリ
スリ
ぞくぞく
ぐるぐる
変な感じする…っ
ビク
ビク
ヤ
ダ
ヤ
ダ
え……
あ……


スススー
あっ
はっ
はっ
はぁっ
ビクン
ビクン
ひぁっ


そんな
あっ
ぐっちゃ
くちゃ
ぬるぬる
で
くちゃ
あっ
あっ♡


擦られたら
ん♡
ガク
はぁっ
もっと…
ぎゅ…
びくっ
ビクッ
力抜けちゃう…っ
はぁっ
すりすり
すりすり
ガク
うっ


ず
いっ
るんっ
ぴ
た…
あ…


……っ
どうしよう
触手様に…


気を
遣わせる
なんて――
はーっ
はーっ
ごめん…
なさい…っ
気持ちいい
…のでっ
もっと
してほしい
です
ぎゅっ
あっ
ぬる…


あっ♡
ぬぷ…
……っ
ゆっくり…
してくれている…
ふぅっ
うっ♡
なで
びくっ
きゅん
だんだん
入ってくるの
わかって
……


ずっと
ゆっくり
出し入れ
されてる
ビクッ
ヌル
ヌル
だけなのに…っ
中
あつい…
敏感に
なっちゃう…っ
ビクッ
ふーっ
ふーっ
ぐにゃ
ビクン
ぐぽぐぽ
ヒク


あ…違…
平気ですっ…
気持ちよくて…っ
はぁっ
はぁっ
はぁっ
ひっ♥
ビクン
あっ
ナデ
ぐりぐり
ぐぽっ
ぐぽっ
きゅんっ
んっ
んっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽ


おっ
ずりゅ
おくくるっ
ぐにゅ
スリ
ぐりぐり
ぐりぐり
ぐりぐり

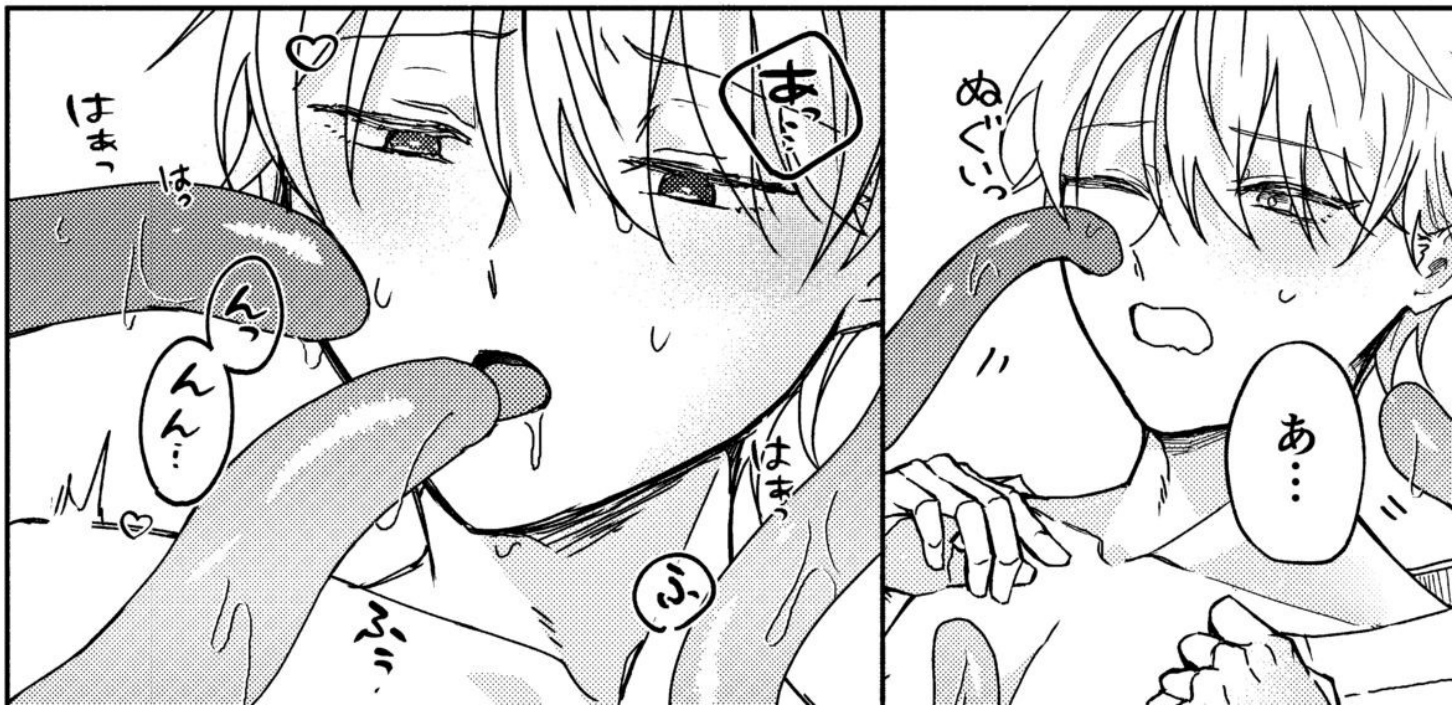

えっ
おれ…
あのあと
寝ちゃった
んだ…
必ず種子を
何も
できてない
のに…
どうしよう
ズルて
…触手様？
ずっ
せっ
せっ
ズル
ぐい
ズリ
これ…


お供物…？
食べていいんですか？
うぐっ
でも
こんな綺麗なもの…
あ
クワッ
あ…
ありがとうございました
すみません…
お風呂に
着物まで…
その…触手様
こんな甘えてばかりじゃだめだ…


今度こそ頑張りますから…
(こゆる…)
役目をやらないと…
どうすればいいのかわからない…
にゅるん…
…優しくされると
この役目が終わったら…
もう……
はぁ…ろ…
わた
わた…
えっ…
あれっ…
すみません


し触手様と
もう会えなくなると思ったら
寂しくなってしまって…


ごめんなさい…


ぬぐいっ
あ…
あっ
はぁっ
はぁっ
んっ
んん…
はぁっ
ふ
ふぅ


触手様
優しい
嬉しい
おれも
触手様に
喜んでほしい…
はーっ
はーっ
触手様ぁ…
あ
きゅっ
はまっ
はっ
ぐぽ♡
あっ♡
先っぽで
入り口
広げられてる…
はーっ
ぐっ
ぐちゅ
あ…
はまっ
はまっ
ズルル
あっ…!


わかる…
ドクン
ドクン
ドクン
触手様の本体…！
はっ
ふっ
ふっ
欲しい…っ
はぁっ
はぁっ
ふぅっ
はぁっ
あ


あぁっ♡
はぁっ
んぐっ
ぐぷっ
大丈夫です
あっ♡ やめないで…
はーっ
はーっ
ぴくっ
はぁっ
でく
ずっ
ずぷっ
あっ♡
すごいっ
きゅん
ぎゅっ
あっ
ずぷっ
あぁっ♡
熱くて太くて…
んっ
はーっ
ふーっ
はぁっ♡
ひっ!?
そんな
奥…!
そこは…っ
まちゅっ
ヨシュン


いっきに
奥にっ
ぴくっ
すごい…っ
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ


こんなに気持ちいいなんてっ
触手様あ
すきです
しゅき
じゅぷっ
はーっ
ぶるっ
じゅぷっ
あっ
あっ
んっ
ぐぽ
ぐぽ
ぐぽ
ぐちゅ
あっ
出して…
だしてください
あっ♡
ぐぽ
ぐぽ
いろんなところ
あんっ
たくさん気持ちよくなって
お
おっ
ば
あぁッ
あ
ガク
ガク
ガク
もうだめ…


どくっ
どくっ
びゅるっ
あっ
すごい
いっぱい出てう…
ん…
んぅう…
びゅ
…♡


んっ
おお…
これで繁殖が
できる
しばらく
村は
安泰だな
お前ももう
お役御免だ
あ…
あのっ


お願いがあります…
ひた…
ひた…
世話役になりました…
新しい手の様子見も兼ねて
今日から
き…
これでもっとお役に…
……


いえ
おれが一緒に
居たかったんです…
触手様と…
えへへ…
これからたくさん一緒に居られますね
触手様…♡

あとがき

攻めが全く喋らない人外エロが描きたかった。
ですが思ったよりラブラブになりました。
なんか描いているうちに触手様も寂しかったんだなあと思って…。

相変わらず原稿が限界ギリギリすぎる。眠い。
この原稿の途中でクリスタの2デバイスプランを申し込みました。
あと初めてB5サイズで描きました。ドキドキ。
次は続きものを出したいです。



この汗飛ばしてるのが好きだから
今回両方そんなキャラになってしまった

別になくても問題ないけど一応決めている時代設定は昭和後期で、
文化が入ってくるのが遅い田舎です。

読んでくださってありがとうございました。

■サークル　もちもち屋
■Twitter　@4deAo
■メール　107．ksrg@gmail.com

■pixiv→

発行者：鯖野

Twitter
感想お待ちしております…

蛇足

少年　養子になった家で呼ばれている名前はあるが
自分の名前のように感じられない
触手様相手に不便はない





触手様　何もしないとだんだん手が減ってしまうので普通は滅んでいく。
たまたま増やす方法を試した人間がいて
雨が降るんじゃないかと言い出した。
昔々は誰もいないところにいた。気づいたら神になっていた。